

名大の時間

コロナ禍による変化と就職しての1年

し、配属は稚内の病院となりました。就職から現在に至るまで業務として調理・盛り付け、配膳・下膳、清掃などを行なっています。最初は仕事を覚えることに苦労して業務をこなすことすら出来ず、やきもきしていました。

着用は当然として、プライベートにも仕事にも大きく影響を及ぼしました。

まずは、外出や遠出を控えました。自分の働いている場所を考えると、もしもこのことを考えてしま

い、外出したいという欲もなかったです。それに加えて、新入社員なわけですから、前述の通り仕事に対して苦労し、最初の数ヶ月は心身ともに余裕が乏しく外出欲が湧かなかつたことも一因でした。

逆

に、外出せずなどこれまで自分に対して

充実感を与えるのか
思案することが楽しく感じていました。

仕事面では、通常の業務に加えてコロナ対応です。指示が平時と異なることが多く、土台となる業務にも慣れていない頃は覚え焦りしました。職場としても初の試みが多かつたらしく、対応の変更が頻繁に起こっていたので尚更でした。また入社1年目ということもあり、当初は研修や講習が開かれる予定でしたが、それが延期や中止などが相次ぎ、学びの機

会も減ってしまいました。

コロナによって公私共に縛りのある生活を強いられました。その中でも意識したのは、揺らがない自我と目的意識。自分は自分に対する指針をしっかりと持つことです。自分にとってのストレスを偏った一面で見るのではなく、意識して複数の視点で見て判断すること、自我をしっかりと言つたりと持つと言つものの、自分の糧とできるモノは柔軟に吸収することが肝要であると感じまし

た。

し、配属は稚内の病院となりました。就職から現在に至るまで業務として調理・盛り付け、配膳・下膳、清掃などを行なっています。最初は仕事を覚えることに苦労して業務をこなすことすら出来ず、やきもきしていました。

まずは、外出や遠出を控えました。自分の働いている場所を考えると、もしもこのことを考えてしま

い、外出したいという欲もなかったです。それに加えて、新入社員なわけですから、前述の通り仕事に対して苦労し、最初の数ヶ月は心身ともに余裕が乏しく外出欲が湧かなかつたことも一因でした。

逆

に、外出せずなどこれまで自分に対して

充実感を与えるのか
思案することが楽しく感じていました。

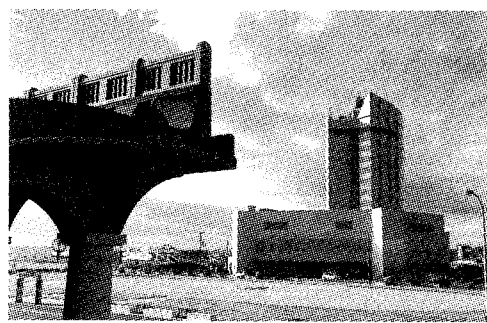
仕事面では、通常の業務に加えてコロナ対応です。指示が平時と異なることが多く、土台となる業務にも慣れていない頃は覚え焦りしました。職場としても初の試みが多かつたらしく、対応の変更が頻繁に起こっていたので尚更でした。また入社1年目ということもあり、当初は研修や講習が開かれる予定でしたが、それが延期や中止などが相次ぎ、学びの機

会も減ってしまいました。

コロナによって公私共に縛りのある生活を強いられました。その中でも意識したのは、揺らがない自我と目的意識。自分は自分に対する指針をしっかりと持つことです。自分にとってのストレスを偏った一面で見るのではなく、意識して複数の視点で見て判断すること、自我をしっかりと言つたりと持つと言つものの、自分の糧とできるモノは柔軟に吸収することが肝要であると感じまし

た。

目的意識や指針は漠然としても良いし、確固たるものがある場合は、おおよその場合なお良いと思います。が、大事なことは自分が何のために仕事をしているか、その仕事をする事で目的を達成または達成に近づくことができ



ることです。少なくとも僕は働く最中、これらの考え方に大きく救われました。これはコロナの有無に関わらない自分の財産だと自負しています。

僕の今後は、稚内からの異動が決まったので、新しい土地と職場で生活していくこととなります。変化の激しい生活が続きますが、その中でも勝ち続けられるように努力や変化をしていく所存です。

令和元年度栄養学科卒業
齋藤夏歩人

コロナ禍で世間があらゆることに気を揉む中、それらも含めて僕にとって変化の多い1年でした。

僕は大学卒業後、給食委託会社へ就職

した。手洗いうがい、手指消毒・マスクの

着用は当然として、プライベートにも仕事にも大きく影響を及ぼしました。

まずは、外出や遠出を控えました。自分の働いている場所を考えると、もしもこのことを考えてしま